

# 平成19年第3回景況調査結果について

2007年10月4日  
三重県農水商工部  
(財)三重県産業支援センター

## 調査要領

1. 調査時点：2007年8月(下旬)
2. 調査対象：県内全域の企業1,000社
3. 調査方法：FAX及びインターネットによるアンケート調査
4. 回答状況：344社(有効回答率 34.4%)
5. 調査企業の産業、従業員数、地域別(県民センター別)内訳

### 【産業別】

### 【従業員規模別】

	建設業	製造業	運輸・ 通信業	卸・ 小売業	金融・ 保険業	サービ ス業	合計	~29人	30~ 99人	100 人~	合計
対象企業数	86	287	65	267	22	273	1,000	528	219	253	1,000
回答企業数	37	94	25	88	18	82	344	156	89	99	344
構成比(%)	10.8	27.3	7.3	25.6	5.2	23.8	100.0	45.3	25.9	28.8	100.0

### 【県民センター別】

	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	合計
対象企業数	111	224	121	152	115	133	90	29	25	1,000
回答企業数	36	85	37	50	43	42	32	13	6	344
構成比(%)	10.5	24.7	10.8	14.5	12.5	12.2	9.3	3.8	1.7	100.0

(注) 構成比等(%)については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

- (注) 桑名県民センター (桑名市・いなべ市・木曽岬町・東員町)  
 四日市県民センター (四日市市・菟野町・朝日町・川越町)  
 鈴鹿県民センター (鈴鹿市・亀山市)  
 津県民センター (津市)  
 松阪県民センター (松阪市・多気町・明和町・大台町)  
 伊勢県民センター (伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・南伊勢町・度会町・大紀町)  
 伊賀県民センター (伊賀市・名張市)  
 尾鷲県民センター (尾鷲市・紀北町)  
 熊野県民センター (熊野市・御浜町・紀宝町)

平成19年8月31日現在

## II 概要 (主な調査項目のD I 値の推移)

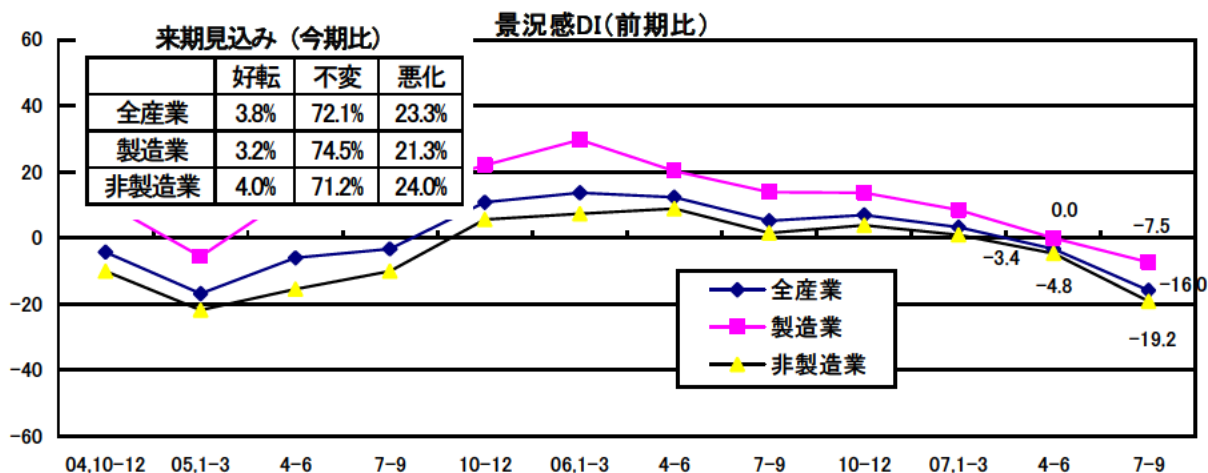
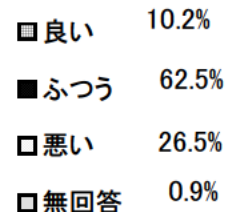
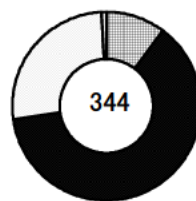
### (1) 景況感

今期の県内景気は「良い」10.2%、「ふつう」62.5%、「悪い」26.5%となっております。

景況感D I (前期比) は全産業でマイナス 16.0 ポイントと前回より 12.6 ポイント悪化しました。

また、来期の見込み (今期比) は、全産業で「悪化」が「好転」を上回っています。

今期の景況感

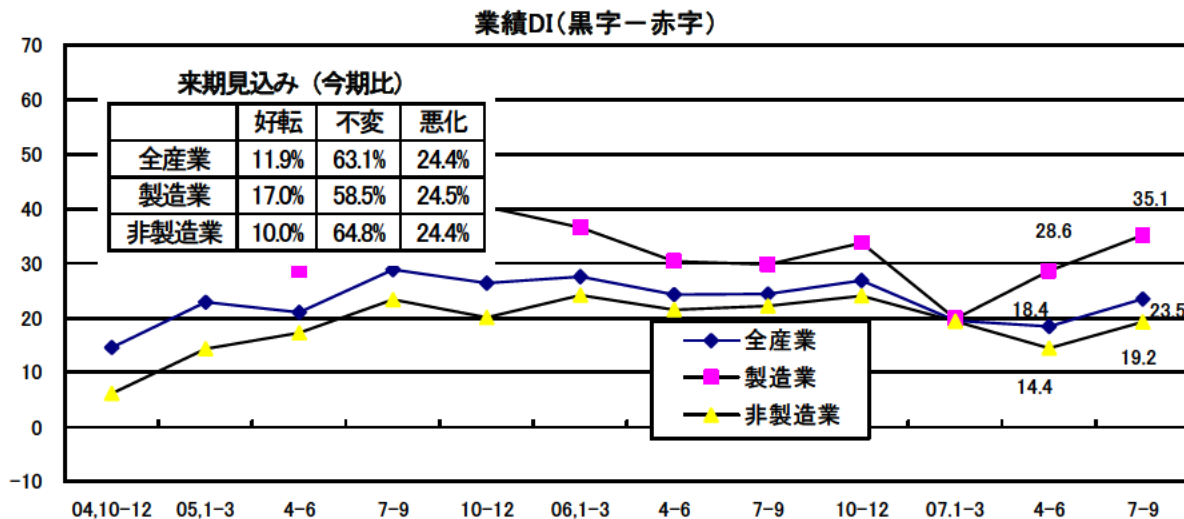


景況感D I = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

### (2) 業績

今期の業況D I (利益状況) は全産業でプラス 23.5 ポイントと前回より 5.1 ポイント改善し、「黒字」とする企業の割合が「赤字」とする企業の割合を 2003 年 1-3 月の調査から引き続き上回っております。

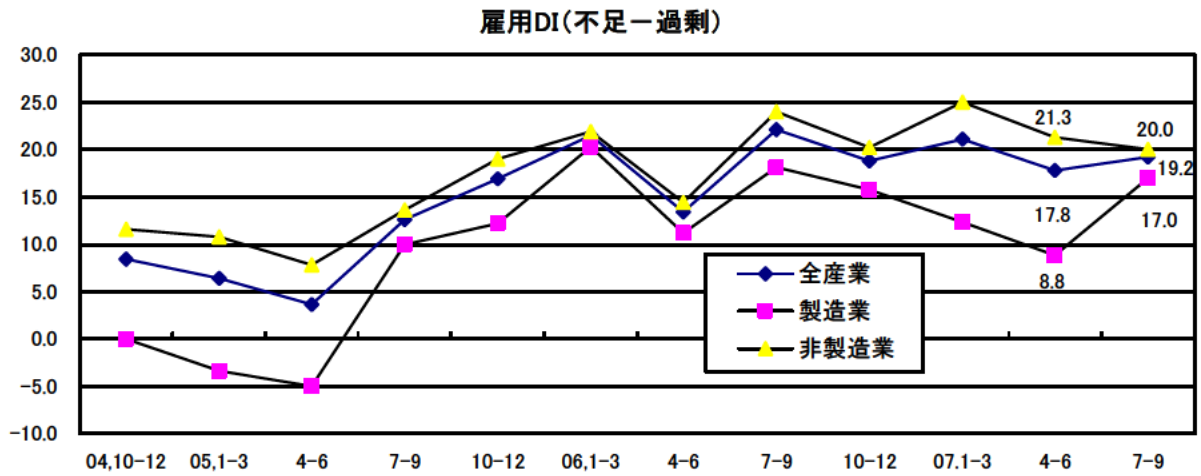
来期の見込み (今期比) は、全産業で「悪化」が「好転」を 12.5 ポイント上回りました。



業績D I = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

(3) 雇用

雇用DIは全産業でプラス19.2ポイントと前回より1.4ポイント改善し、雇用状態が「不足」とする企業の割合が「過剰」とする企業の割合を13期連続で上回っております。



雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

(4) 要約

今期の県内企業の景況は、景況感DIは前回は下回り2期連続のマイナスとなりました。しかし、業績DIは全産業で前回は上回りました。雇用DIは、依然、全産業で労働力の「不足」感を感じています。また、原油高により業績に何らかの影響があったと答えた企業の割合は87.5%となり、前年同期より4.6%増加しており原油高の影響が続いています。

(5) 産業別

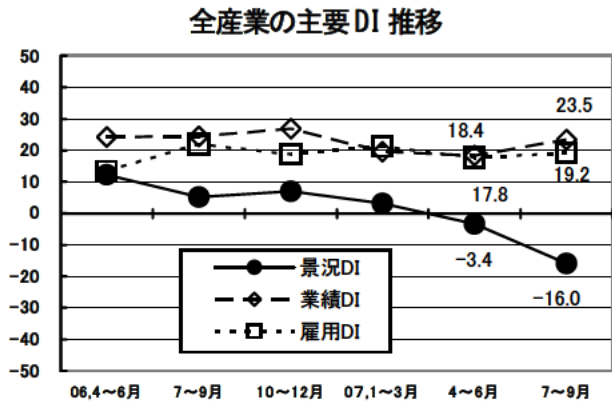
**全産業** (回答344社)

景況感はさらに悪化し、2期連続マイナス。業績、雇用ともに改善。

景況感DI (前期比) は、全産業でマイナス16.0ポイントとなり、前回より12.6ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス23.5ポイントとなり、前回より5.1ポイント改善しました。

雇用DIはプラス19.2ポイントとなり、前回より1.4ポイント改善しました。

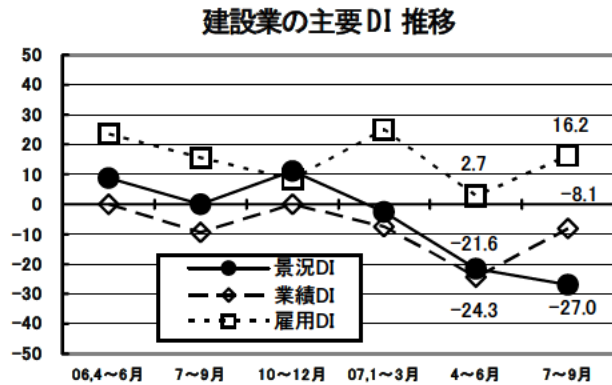


**建設業** (回答37社)

景況感はさらに悪化。業績は改善するもマイナスが続く。雇用は改善。

景況感DI (前期比) は、建設業でマイナス27.0ポイントとなり、前回より5.4ポイント悪化しました。また、業績DIもマイナス8.1ポイントとなり、前回より16.2ポイント改善しました。

雇用DIはプラス16.2ポイントで、前回より13.5ポイント改善しました。



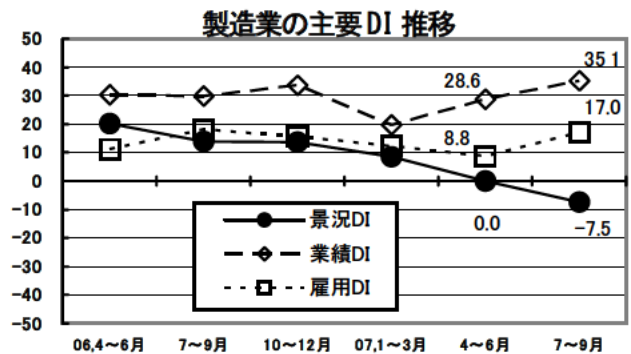
**製造業** (回答94社)

景況感はさらに悪化しマイナスとなる。業績は改善を維持。雇用は改善。

景況感DI (前期比) は、製造業でマイナス7.5ポイントとなり、前回より7.5ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス35.1ポイントとなり、前回より6.5ポイント改善しました。

雇用DIはプラス17.0ポイントとなり、前回より8.2ポイント改善しました。



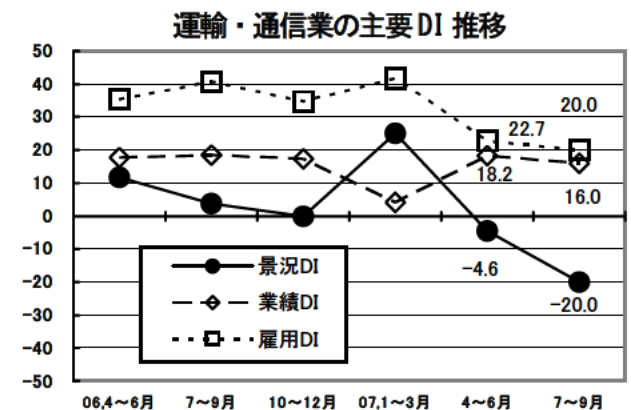
**運輸・通信業** (回答25社)

景況感はさらに悪化。業績、雇用は悪化するもプラスを維持。

景況感DI (前期比) は、運輸・通信業でマイナス20.0ポイントとなり、前回より15.4ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス16.0ポイントとなり、前回より2.2ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス20.0ポイントとなり、前回より2.7ポイント悪化しました。



## 卸・小売業 (回答88社)

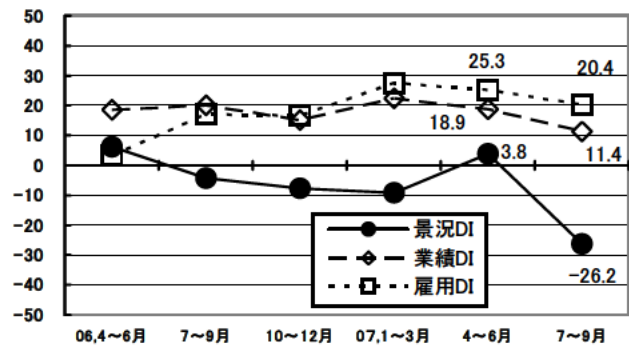
景況感は悪化し、マイナスに転じる。  
業績、雇用は悪化するもプラスを維持。

景況感DI (前期比) は、卸・小売業でマイナス26.2ポイントとなり、前回より30.0ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス11.4ポイントとなり、前回より7.5ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス20.4ポイントとなり、前回より4.9ポイント悪化しました。

卸・小売業の主要DI 推移



## 金融・保険業 (回答18社)

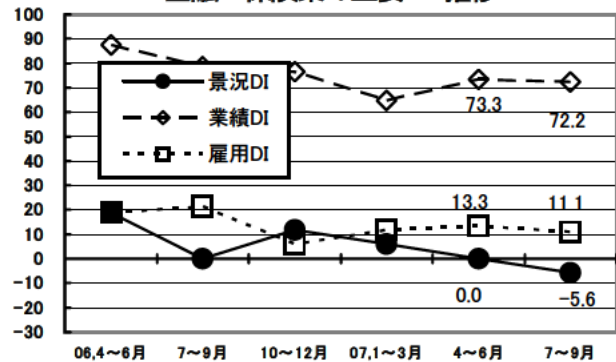
景況感は悪化し、マイナスとなる。  
業績は引き続き高水準。雇用は悪化。

景況感DI (前期比) は、金融・保険業でマイナス5.6ポイントとなり、前回より5.6ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス72.2ポイントとなり、前回より1.1ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス11.1ポイントとなり、2.2ポイント悪化しました。

金融・保険業の主要DI 推移



## サービス業 (回答82社)

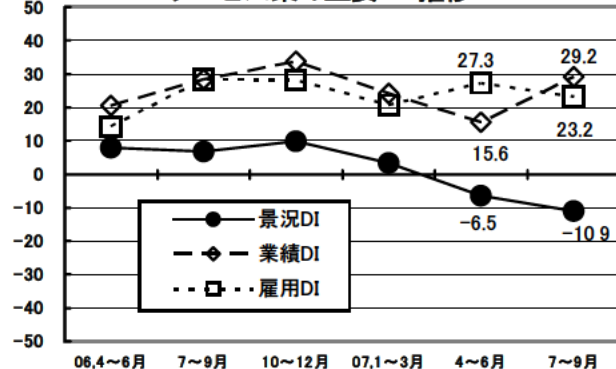
景況はさらに悪化。  
業績は改善。雇用は悪化。

景況感DI (前期比) は、サービス業でマイナス10.9ポイントとなり、前回より4.4ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス29.2ポイントとなり、前回より13.6ポイント改善しました。

雇用DIはプラス23.2ポイントとなり、前回より4.1ポイント悪化しました。

サービス業の主要DI 推移



景況感DI = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

業績DI = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

※ 前期=2007年4~6月 今期=2007年7~9月 来期=2007年10~12月

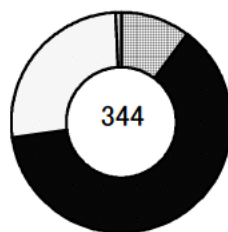
### III 県民センター別の主要DI

	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	全体
今期景況感DI	-22.2	-1.1	-5.4	-20.0	-14.0	-23.9	-31.3	-38.5	-50.0	-16.0
前期 "	0.0	5.4	10.7	0.0	0.0	-16.3	-11.1	-30.8	-42.9	-3.4
今期業績DI	13.9	41.2	37.9	26.0	16.3	7.2	18.8	-15.4	0.0	23.5
前期 "	35.3	26.7	21.4	32.7	5.6	-7.0	16.7	7.7	-14.3	18.4
今期雇用DI	13.9	30.6	24.3	18.0	7.0	16.7	12.5	7.7	33.3	19.2
前期 "	23.5	25.4	10.8	14.3	-2.8	32.5	16.7	7.7	0.0	17.8

## IV全調査項目の結果詳細

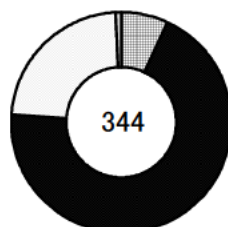
### 1. 景気

(1) 今期の県内景気については、「良い」10.2%(35社)、「ふつう」62.5%(215社)、「悪い」26.5%(91社)となっています。



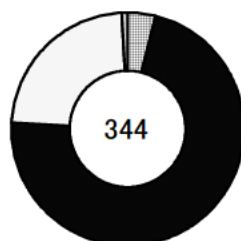
□ 良い	10.2%
■ ふつう	62.5%
□ 悪い	26.5%
□ 無回答	0.9%

(2) 前期と比べた今期の県内景気については、「好転」7.0%(24社)、「不変」69.2%(238社)、「悪化」23.0%(79社)となっています。



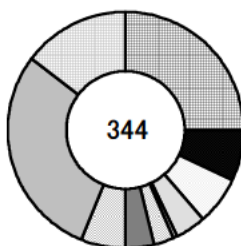
□ 好転	7.0%
■ 不変	69.2%
□ 悪化	23.0%
□ 無回答	0.9%

(3) 今期と比べた来期の県内景気については、「好転」3.8%(13社)、「不変」72.1%(248社)、「悪化」23.3%(80社)となっています。



□ 好転	3.8%
■ 不変	72.1%
□ 悪化	23.3%
□ 無回答	0.9%

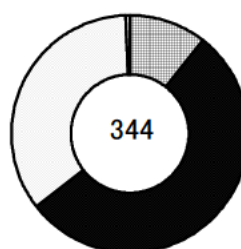
(4) 国内景気の回復時期については、「2008年7月以降」が29.1%(100社)でもっとも多く、次いで「2006年9月以前」が25.0%(86社)、「2006年10～12月」が7.0%(24社)の順となっています。



□ 2006年9月以前	25.0%
■ 2006年10～12月	7.0%
□ 2007年1～3月	6.7%
□ 2007年4～6月	4.1%
□ 2007年7～9月	0.6%
□ 2007年10～12月	2.9%
■ 2008年1～3月	3.8%
□ 2008年4～6月	6.1%
□ 2008年7月以降	29.1%
□ 無回答	14.8%

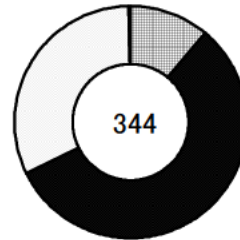
### 2. 業況

(1) 今期の業況については、「良い」10.5%(36社)、「ふつう」54.1%(186社)、「悪い」34.9%(120社)となっています。



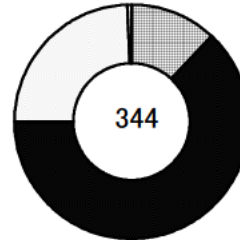
□ 良い	10.5%
■ ふつう	54.1%
□ 悪い	34.9%
□ 無回答	0.6%

(2) 前期と比べた今期の業況については、「好転」11.0% (38社)、「不変」56.7% (195社)、「悪化」32.0% (110社) となっています。



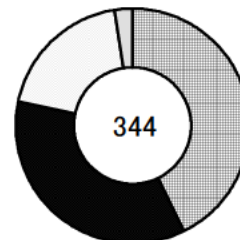
□好転	11.0%
■不変	56.7%
□悪化	32.0%
□無回答	0.3%

(3) 今期と比べた来期の業況見込みについては、「好転」11.9% (41社)、「不変」63.1% (217社)、「悪化」24.4% (84社) となっています。



□好転	11.9%
■不変	63.1%
□悪化	24.4%
□無回答	0.6%

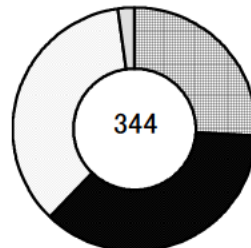
(4) 今期の利益状況については、「黒字」42.7% (147社)、「収支均衡」35.5% (122社)、「赤字」19.2% (66社) となっています。



□黒字	42.7%
■収支均衡	35.5%
□赤字	19.2%
□無回答	2.6%

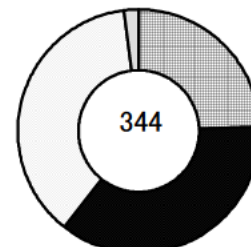
### 3. 売上高

(1) 売上高の前期比較については、「増加」25.9% (89社)、「不変」36.3% (125社)、「減少」35.5% (122社) となっています。



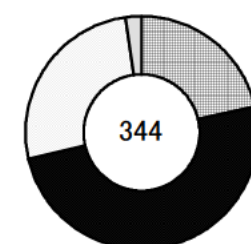
□増加	25.9%
■不変	36.3%
□減少	35.5%
□無回答	2.3%

(2) 売上高の前年同期比較については、「増加」24.4% (84社)、「不変」36.0% (124社)、「減少」37.5% (129社) となっています。



□増加	24.4%
■不変	36.0%
□減少	37.5%
□無回答	2.0%

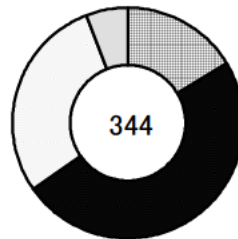
(3) 売上高の来期見込みについては、「増加」21.5% (74社)、「不変」50.0% (172社)、「減少」26.2% (90社) となっています。



□増加	21.5%
■不変	50.0%
□減少	26.2%
□無回答	2.3%

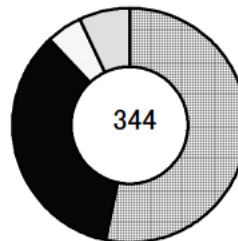
#### 4. 価格

(1) 今期の販売価格・受注単価については、「上昇」16.3% (56社)、「不変」49.1% (169社)、「低下」28.8% (99社) となっています。



■ 上昇	16.3%
■ 不変	49.1%
□ 低下	28.8%
□ 無回答	5.8%

(2) 今期の仕入価格 (原材料・商品) については、「上昇」53.2% (183社)、「不変」34.9% (120社)、「低下」4.9% (17社) となっています。

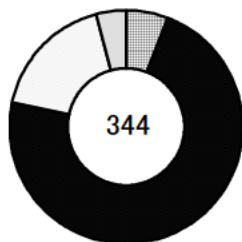


□ 上昇	53.2%
■ 不変	34.9%
□ 低下	4.9%
□ 無回答	7.0%

#### 5. 資金繰り

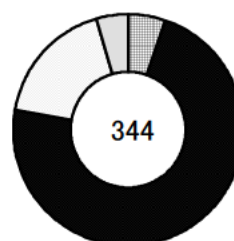
(1)・(2) 資金繰りについては、今期が72.4%、来期も72.7%の企業が「不変」としており、今期は「好転」が5.8% (20社)、「悪化」が17.7% (61社)、来期は「好転」が5.2% (18社)、「悪化」が17.7% (61社)と、今期・来期とも「悪化」が「好転」を上回っています。

今期資金繰り (前期比)



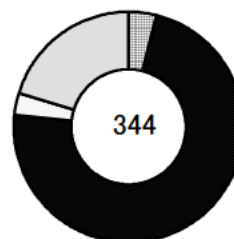
□ 好転	5.8%
■ 不変	72.4%
□ 悪化	17.7%
□ 無回答	4.1%

来期資金繰り (今期比)



□ 好転	5.2%
■ 不変	72.7%
□ 悪化	17.7%
□ 無回答	4.4%

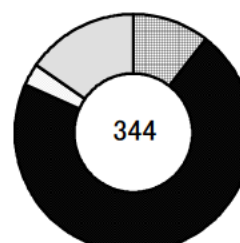
(3) 受取手形の期間は、「長期化」3.8% (13社)、「不変」73.0% (251社)、「短期化」2.9% (10社) となっています。



□ 長期化	3.8%
■ 不変	73.0%
□ 短期化	2.9%
□ 不明	20.3%

#### 6. 製品 (商品)・原材料在庫

現在の製品在庫状況については、「過剰」10.5% (36社)、「適正」71.2% (245社)、「不足」2.9% (10社) となっています。



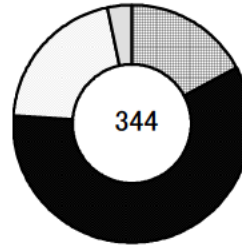
□ 過剰	10.5%
■ 適正	71.2%
□ 不足	2.9%
□ 無回答	15.4%



## 7. 設備投資意欲

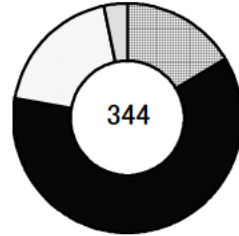
### 〔設備投資意欲〕

(1) 前期と比べた今期の設備投資意欲については、「上昇」17.2% (59社)、「不変」59.0% (203社)、「下降」20.6% (71社) となっています。



□ 上昇	17.2%
■ 不変	59.0%
□ 下降	20.6%
□ 無回答	3.2%

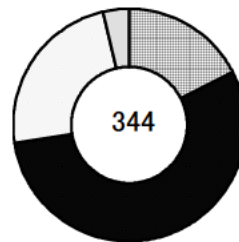
(2) 今期と比べた来期の設備投資意欲は、「上昇」16.3% (56社)、「不変」61.6% (212社)、「下降」18.9% (65社) となっています。



□ 上昇	16.3%
■ 不変	61.6%
□ 下降	18.9%
□ 無回答	3.2%

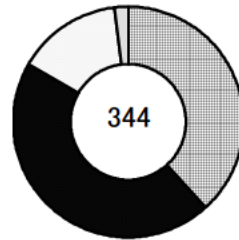
### 〔設備投資状況〕

(3) 平成18年度上半期(2006年4月～2006年9月)と比べた平成19年度上半期(2007年4月～2007年9月)の設備投資計画額は、「増加」17.4% (60社)、「不変」54.9% (189社)、「減少」24.1% (83社) となっています。



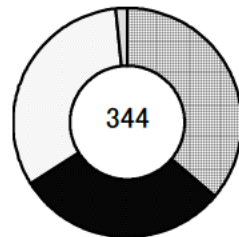
□ 増加	17.4%
■ 不変	54.9%
□ 減少	24.1%
□ 無回答	3.5%

(4) 今期の設備投資予定は、「する」38.4% (132社)、「しない」45.1% (155社)、「未定」14.5% (50社) となっています。



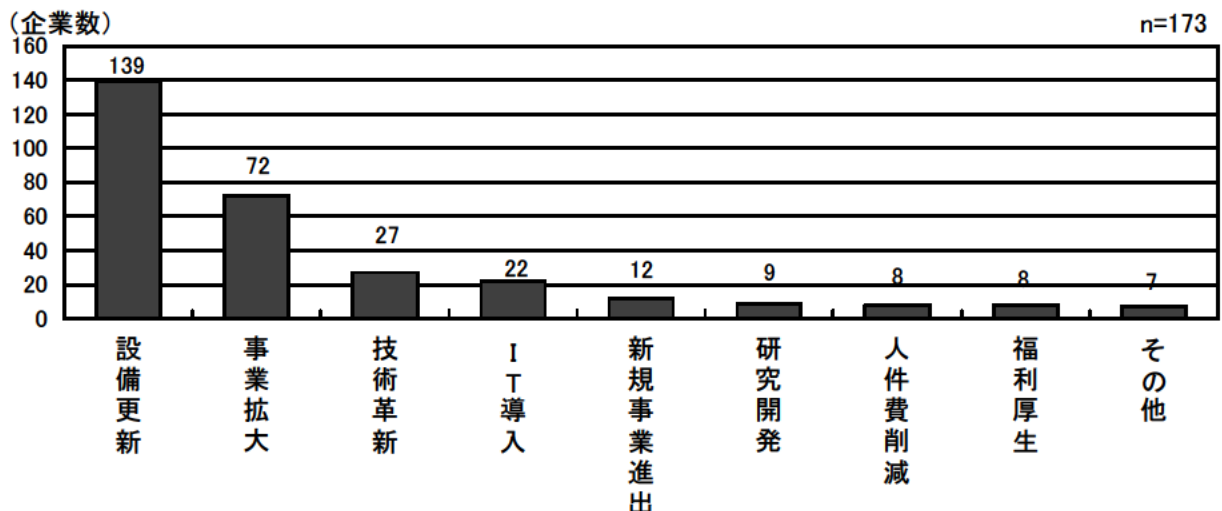
□ する	38.4%
■ しない	45.1%
□ 未定	14.5%
□ 無回答	2.0%

(5) 来期の設備投資予定は、「する」36.0% (124社)、「しない」29.9% (103社)、「未定」32.3% (111社) となっています。



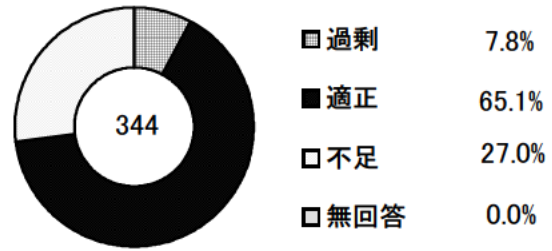
□ する	36.0%
■ しない	29.9%
□ 未定	32.3%
□ 無回答	1.7%

(6) 設備投資の主目的は、「設備更新」80.3% (139社)、「事業拡大」41.6% (72社)、「技術革新」15.6% (27社) の順となっています。(複数回答可)

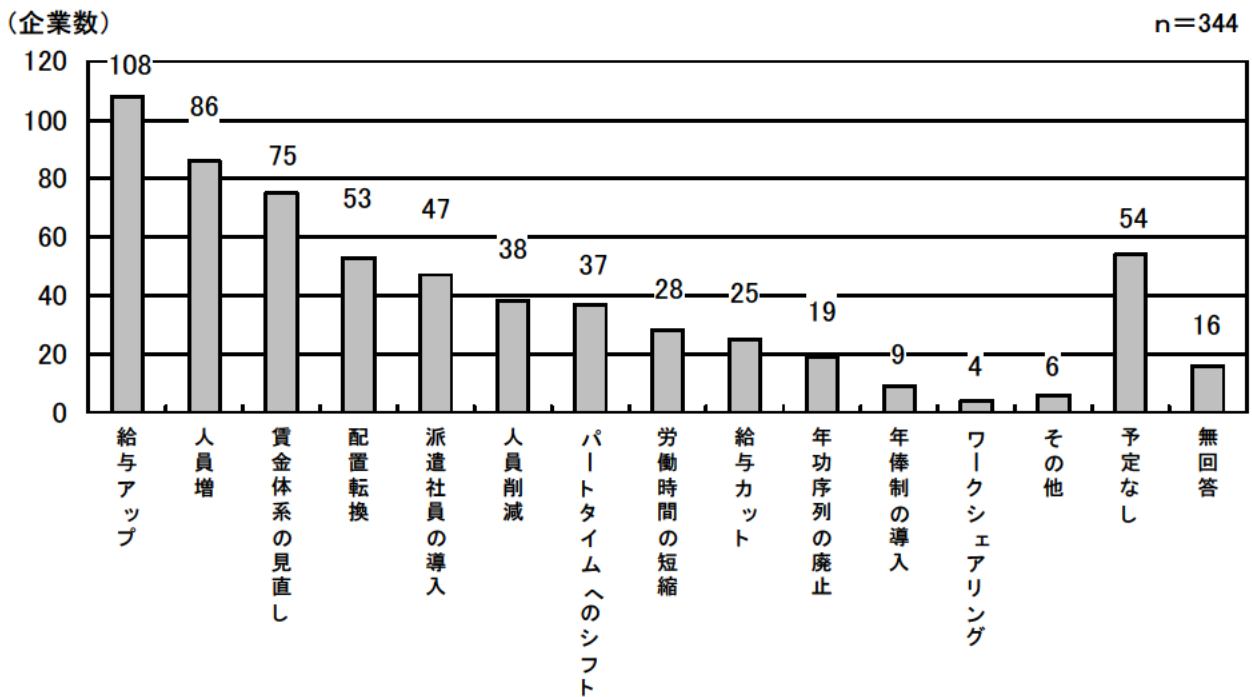


## 8. 雇用状態

(1) 今期の雇用状態については、「過剰」7.8% (27社)、「適正」65.1% (224社)、「不足」27.0% (93社) となっています。

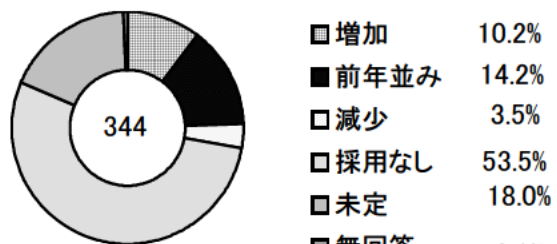


(2) 過去1年に行った、あるいは行う予定の雇用問題対策は、「給与アップ」31.4% (108社)、「人員増」25.0% (86社)、「賃金体系の見直し」21.8% (75社)、「配置転換」が15.4% (53社) の順となっています。(複数回答可)

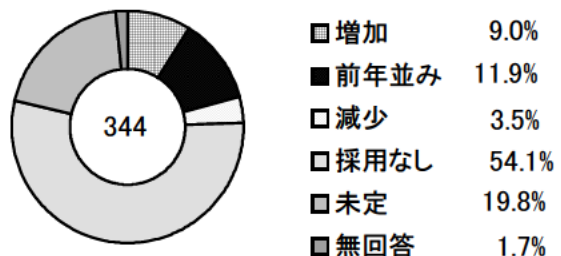


## 9. 新規学卒の採用計画

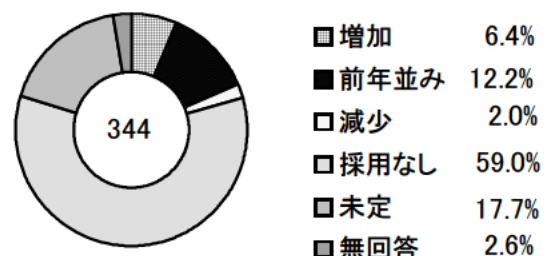
(1) 高校卒業予定者について採用予定数は、「採用なし」53.5% (184社)、「未定」18.0% (62社)、「前年並み」14.2% (49社)「増加」10.2% (35社) の順となっています。



(2) 大学卒業予定者 (事務系) について採用予定数は、「採用なし」54.1% (186社)、「未定」19.8% (68社)、「前年並み」11.9% (41社)、「増加」9.0% (31社) の順となっています。

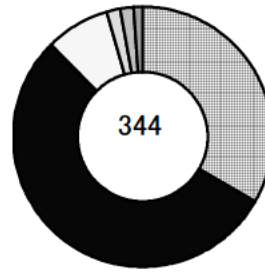


(3) 大学卒業予定者 (技術系) について採用予定数は、「採用なし」59.0% (203社)、「未定」17.7% (61社)、「前年並み」12.2% (42社)、「増加」6.4% (22社) の順となっています。



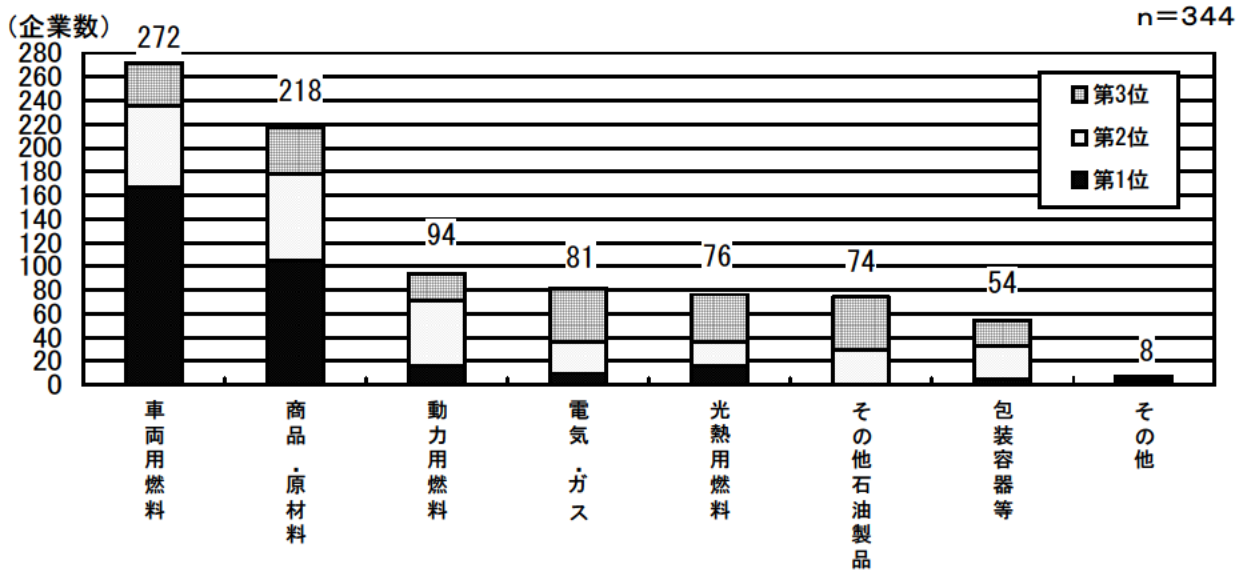
### 10. 原油高による影響

(1) 石油製品等の価格上昇による業績への影響は、「多少影響があった」54.1% (186社)、「大きく影響があった」33.4% (115社)、「ほとんど影響がない」8.1% (28社) となっています。

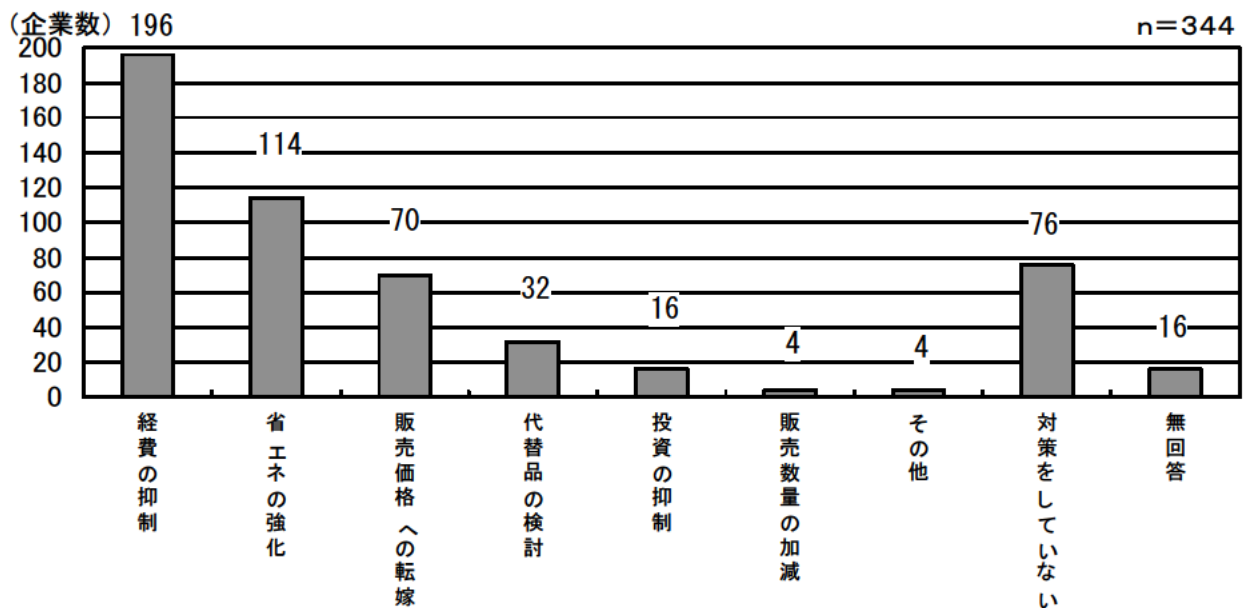


大きく影響があった	33.4%
多少影響があった	54.1%
ほとんど影響がない	8.1%
全くない	1.5%
わからない	1.7%
無回答	1.2%

(2) 石油製品等の価格上昇が業績に影響を与えた割合が高いのは、「車両用燃料の価格」272社 (79.1%)、「仕入れ商品・原材料」218社 (63.3%)、「動力用燃料」94社 (27.4%) の順となっています。(上位3項目選択)

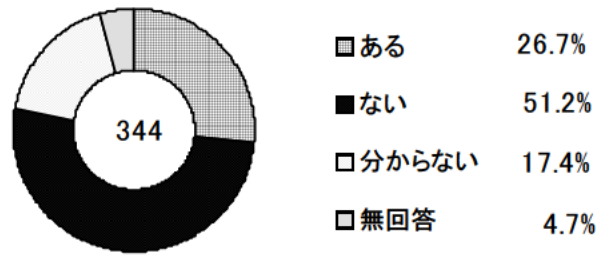


(3) 石油製品等の価格上昇に伴い行っている対策は、「経費の抑制」196社 (57.0%)、「省エネの強化」114社 (33.1%)、「対策をしていない」は76社 (22.1%) の順となっています。「販売価格への転嫁」は70社 (20.3%) に留まっています。(複数回答可)

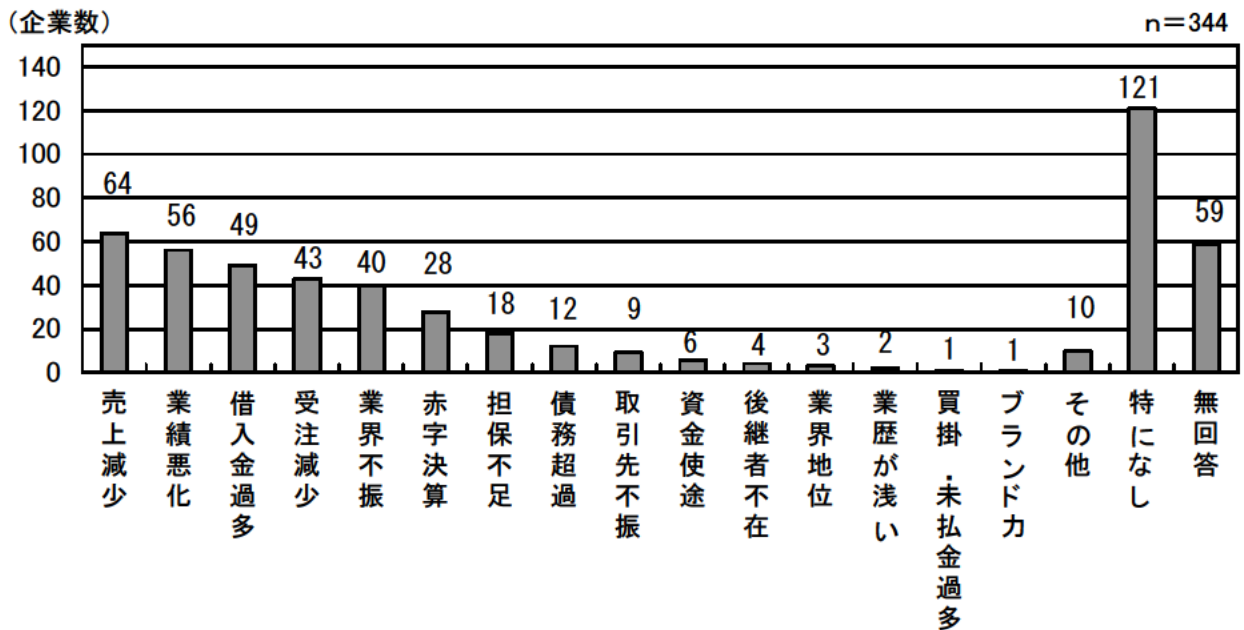


## 1.1. 資金調達

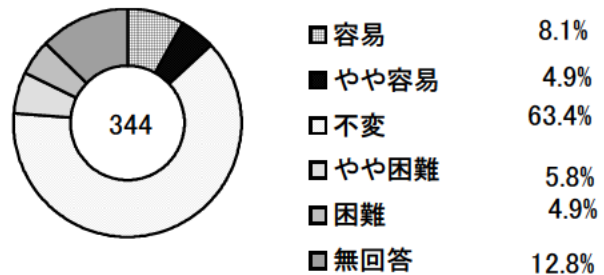
(1) 新規の借入を行う必要については、「ある」26.7% (92社)、「ない」51.2% (176社) となっています。



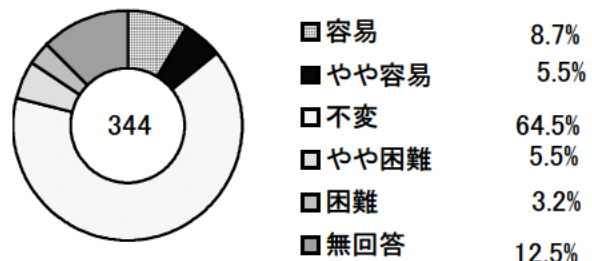
(2) 借入にあたっての問題については、「売上減少」18.6% (64社)、「業績悪化」16.3% (56社)、「借入金過多」14.2% (49社) の順となっています。(複数回答可)



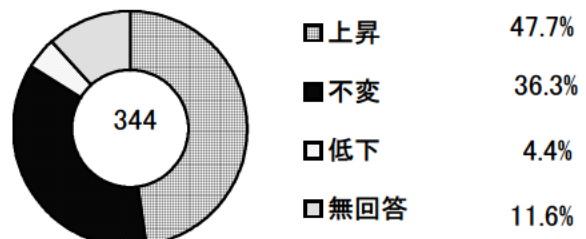
(3) 前期と比べた今期の長期資金借り入れ難度は、「容易」8.1% (28社)、「やや容易」4.9% (17社)、「不変」63.4% (218社)、「やや困難」5.8% (20社)、「困難」4.9% (17社) となっています。



(4) 前期と比べた今期の短期資金借り入れ難度は、「容易」8.7% (30社)、「やや容易」5.5% (19社)、「不変」64.5% (222社)、「やや困難」5.5% (19社)、「困難」3.2% (11社) となっています。

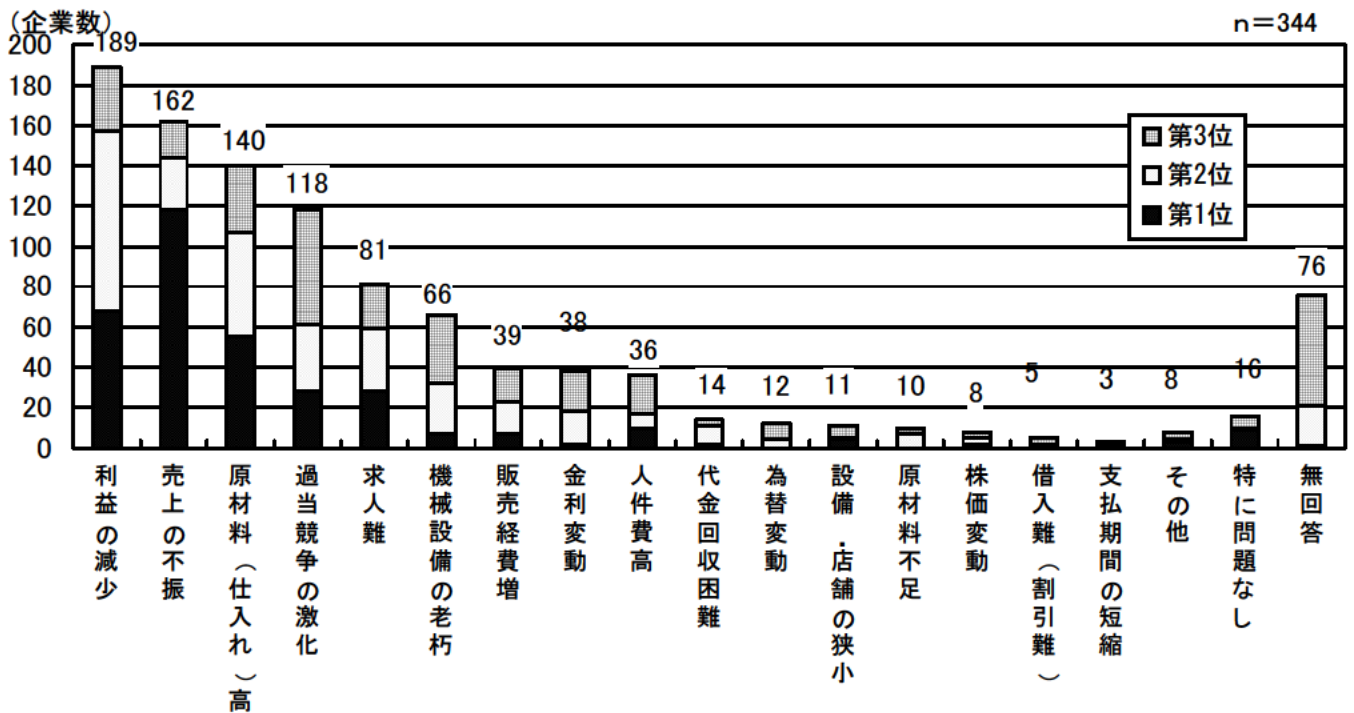


(5) 前期と比べた今期の借り入れ金利は、「上昇」47.7% (164社)、「不変」36.3% (125社)、「低下」4.4% (15社) となっています。



## 1.2. 経営上の問題

- (1) 経営上の問題点としては、「利益の減少」55.0% (189社)、「売上の不振」47.1% (162社) 「原材料(仕入れ)高」40.7% (140社)の順となっています。(上位3項目選択)



- (2) 効果があると考えられる公共機関が行う企業支援策としては、「減税」60.8% (209社)、「助成制度」34.0% (117社)、「公共事業の増加」30.5% (105社)の順となっています。(複数回答可)

